

平成21年度 学校評価実施報告書

学校番号 42 学校名 千葉県立市川北高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況、結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	<p>携帯サイトを設置した。ホームページの更新を1か月に2～3回のペースで行った。アクセスカウンターを設置し、ホームページの閲覧状況の把握を行った。</p> <p>8月と10月に学校説明会を実施し、1学期と2学期に中学校訪問を実施した。</p> <p>各学期に1回ずつ開かれた学校づくり委員会を開催し、学校運営に対する意見を聴取した。</p> <p>職員対象のアンケートの結果、会議について効率的な運営がなされているとの意見が多かった。</p>	<p>項目により更新の頻度に差があった。また、内容の充実を求める要望や緊急連絡の掲載の要望があったので、検討していきたい。</p> <p>来年度は、市川西高校と合同での実施予定であり、内容の充実を図る。</p> <p>統合を控え、ミニ集会等を市川西高校との合同実施を検討していきたい。</p> <p>資料の事前配付が徹底されなかった。会議時間の短縮のためにも徹底していきたい。</p>
学習指導	<p>10月に生徒による授業評価アンケートを実施した。全体的に良好な評価であった。</p> <p>6月と10月に保護者に対する授業公開を行った。参加者は延べ47人の少数であった。参加者に対するアンケートは実施出来なかった。</p> <p>授業公開時の教員相互の授業参観は積極的には行われなかった。また、各教科とも各学期ごと評価に関する話し合いは実施できているが、各教科及び学校全体の授業研究については積極的な取組が出来なかった。</p>	<p>教員の授業に対する評価は高かった。反面、生徒の学習状況が不十分であり、家庭学習の充実を図りたい。</p> <p>参加人数が少なく、アンケートは実施できなかった。保護者に関心をもってもらい、参加人数を増加させる方策を検討したい。また、市川西高校の保護者の参加も呼びかけたい。</p> <p>年間の行事計画に2回の授業公開週間を位置づけ、各教科で授業研究を実施する環境を整えたい。また、統合を控え両校の教員による相互の授業参観、授業研究の機会を作り、積極的に推進していきたい。</p>
生徒指導	<p>遅刻者の1学期の延べ人数は1365人で昨年度比24%減、2学期は2555人で昨年度比18%減を達成した。登下校マナーについて各学期にマナーアップキャンペーンを実施するとともに、各学期に2回ずつ登校・下校指導強化週間を設け指導を実施した。</p> <p>6月に全生徒に対する個人面談を実施した。</p> <p>スクールカウンセラーを招へいしての面談事例はなかった。生徒理解に関して特別支援教育に関する研修会を実施した。</p>	<p>遅刻については、1学期、2学期ともに減少した。2学期の10月以降、3学年の進路決定後の遅刻者数に増加傾向があるので今後の対策が必要である。登下校のマナーについて近隣住民からの苦情があるなどまだ十分な状況ではない。マナー・モラルの遵守については、各ホームルームで指導の徹底を図る。</p> <p>生徒へのアンケート結果では相談業務に対する評価は良くなってきている。個に応じたきめ細やかな相談業務を行えるような体制をさらに強化していきたい。</p> <p>関係機関と連携し、必要に応じてカウンセラーを招へいできるような環境を整えたい。また、教育相談箱の一層の活用・周知を図る。</p>
キャリア教育	<p>ガイダンスは、1学年は1回(10月)、2学年は3回(10月、11月、1月)、3学年は3回(5月、6月、7月)実施した。また、就職講座を合計9回実施した。</p> <p>職場体験は7月に看護関係が3名参加した。また、5月下旬に3年の家庭科選択者が保育所を訪問する予定であったが、新型インフルエンザの影響で中止となった。</p> <p>11月に千葉商科大学の情報の特別授業、和洋女子大学の書道及び英語の特別授業を実施し、のべ90名が参加した。</p>	<p>就職状況が厳しく、1学年から早期の意識付けが必要である。3年間の段階的継続的な指導が行えるように計画を立てる。</p> <p>職場体験については周知が足りず、応募者が少なかった。進路関係行事の着実な伝達に向けてポスターや掲示板の活用など方法を工夫する。また、3年生の保育所訪問は来年度も継続して実施したい。</p> <p>より多くの生徒が参加できるような実施形態を検討したい。</p>
特別活動	<p>生徒に対するアンケートの結果、学校行事・生徒会・部活動が充実していると回答した生徒が15ポイント増加した。</p> <p>1学期の1年生の部活動加入率は、104.3%で目標を達成した。また、12月現在の加入率も昨年同時期より6.8ポイント増加した。</p>	<p>統合に向け、学校行事・生徒会・部活動における市川西高校との交流の機会を設けるようにする。</p> <p>部活動加入率は、12月現在で67.8%であり、部活動への定着率が増加するような工夫するとともに、市川西高校との合同練習や合同での大会参加等を促進する。</p>
特色ある活動	<p>統合に係る情報を提供するホームページサイトを作成し、統合準備室会議の決定事項等を定期的に更新した。</p> <p>11月に千葉商科大学の情報の特別授業、和洋女子大学の書道及び英語の特別授業を実施し、のべ90名が参加した。アンケートの結果、参加生徒の満足度は高いものであった。</p>	<p>更新の頻度を増加させるとともに見やすいホームページの工夫をする。また、市川西高校と協力して、合同の学校説明会や中学校訪問の回数を増やし統合校についての広報に努める。</p> <p>より多くの生徒が参加できるような実施形態を検討するとともに内容の充実を図る。</p>

<p>学校評価の公表について (手段・時期等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 2月にアンケート結果をホームページに公表するとともに、PTA会報に掲載し配布した。 ・ 3月から、ホームページにアップし、学校評価等を公表する。
---------------------------------	---

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
<p>学校経営</p>	<p>HPの定期的な更新や携帯サイト、アクセスカウンタの設置ははずばらしい。将来的には、情報のメール配信の検討もして欲しい。</p> <p>外部に対する広報について工夫をされていると思うが、一番の広告媒体は自校の生徒であり、中学生はそれを見ている。自校の生徒をしっかりと育てるのも広報として有効である。</p> <p>教員が多忙で生徒と向き合う時間が少なくなっていることを懸念する。会議の効率化や学校経営の中の仕事の優先順位を考えて欲しい。</p>	<p>項目により更新の頻度に差があった。また、内容の充実を求める要望や緊急連絡の掲載の要望があったので、検討していく。</p> <p>来年度の学校説明会・中学校訪問は、市川西高校と合同での実施予定であり、さらに内容の充実を図る。統合を控え、ミニ集会等を市川西高校との合同実施を検討し、一層の交流を図る。</p> <p>会議運営の効率化だけでなく、組織の見直しや会議の精選を図っていく。</p>
<p>学習指導</p>	<p>成績不振者の激減は大いに評価できる。先生方には授業を大事にする取組を進めてもらいたい。また、生徒による授業評価やアンケートは大いに賛成である。ただし、生徒の評価は1つの指標と捉え、生徒に媚びるような授業にならないよう注意していただきたい。</p> <p>定期考査の午後等を利用して全職員で近隣の小中学校の授業見学に行くのもお互いの刺激になっていいのではないが。</p>	<p>教員の授業に対する評価は高かった。反面、生徒の学習状況が不十分であり、家庭学習の充実を図りたい。授業公開への参加人数が少なく、アンケートは実施できなかった。参加人数を増加させる方策を検討したい。年間の行事計画に2回の授業公開週間を位置づけ、各教科で授業研究を実施する環境を整えたい。また、市川西高校との教員間の相互の授業公開や授業研究の機会を設け、両校職員の積極的な交流を行いたい。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>遅刻者の減少ははずばらしい。遅刻カード等の取組の成果があがってきているのではないが。時間を守ることは社会に出てからも重要なことである。登下校のマナーの改善は学校だけの取組では難しい、大人も自転車の乗り方のマナーが悪い者が多い、もっと大きな組織での取組が必要と考える。</p> <p>市内の小中学校は全ての学校にカウンセラーが常駐しているようである。高校では常駐していないのは残念である。</p>	<p>遅刻については、1学期、2学期ともに減少した。2学期の10月以降、3学年の進路決定後の遅刻者数の増加傾向があるので今後の対策が必要である。登下校のマナーについて近隣住民からの苦情があるなどまだ十分な状況ではない。マナー・モラルの遵守については、各ホームルームで指導の徹底を図る。</p> <p>学校の教育相談業務に対する生徒・保護者の評価は高いが、一層の個に応じたきめ細やかな相談業務を行えるような体制を整える。</p> <p>関係機関との連携によるカウンセラー活用体制を整備する。また、教育相談箱の一層の活用・周知を図る。</p>
<p>キャリア教育</p>	<p>ガイダンスが計画的に実施されていてよい。家庭にもタイミング良く進路情報を伝えていただき、親と子供が家庭で進路について話し合える環境が作れるよう願いたい。</p> <p>大学4年間は人生においてとても重要な時期である、生徒の大学選びを慎重に行うことができるよう、また、生徒が希望する進路を実現できるよう指導に一層努めていただきたい。</p> <p>就職が厳しいとのことだが、社会はコンピューターでは対応できない人間性の部分を重要視している。学校においてはマナーや道德等の人格教育にも力を入れて欲しい。</p>	<p>就職状況が厳しく、1学年から早期の意識付けが必要である。3年間の段階的継続的な指導が行えるように計画を立てる。また、保護者への情報提供を積極的に行っていく。</p> <p>職場体験については周知が足りず、応募者が少なかった。進路関係行事の着実な伝達に向けてポスターや掲示板の活用など方法を工夫する。また、3年生の保育所訪問は来年度も継続して実施する。</p> <p>高大連携の特別授業については、より多くの生徒が参加できるように実施形態を検討し、内容の充実を図る。</p>
<p>特別活動</p>	<p>本校の生徒会活動は充実している。統合校の生徒会活動もぜひ充実させて欲しい。また、統合校でのユネスコ・スクールとしての活動を期待している。</p> <p>統合校フォーラムでの両校生徒の合同演奏ははずばしかった。今後とも両校生徒の部活動交流を推進していただきたい。</p>	<p>統合に向け、学校行事・生徒会・部活動における市川西高校との交流の機会を設けるようにする。</p> <p>部活動加入率は、12月現在で67.8%であり、部活動への定着率が増加するような工夫するとともに、市川西高校との合同練習や合同での大会参加等を促進する。</p>
<p>特色ある活動</p>	<p>本校の取組全般について統合を前向きに捉えており、ずばらしい。今後も統合が生徒にとって夢を抱かせてくれるようなホームページの工夫や広報を行って欲しい。</p> <p>大学側としては今後とも高大連携で協力をしたい。</p>	<p>更新の頻度を増加させるとともに見やすいホームページの工夫をする。また、市川西高校と協力して、合同の学校説明会や中学校訪問の回数を増やし統合校についての広報に努める。</p> <p>高大連携を利用した両校の生徒交流がより多くの生徒が参加できるよう実施形態や内容の充実を図る。</p>